

## 2021年度6月度 普及度調査まとめ

本調査は、chemSHERPAユーザーが他の様式を使っている状況を把握するためのアンケート調査です。様式の利用状況（動向）を把握するため、6カ月おきに実施する予定です。

この結果は、公開するとともに、委員会活動の参考資料とさせていただきます。

2021年7月29日  
アーティクルマネジメント推進協議会（JAMP）  
普及委員会  
産業間連携検討会

# アンケート概要と回答者の分布

## 1. アンケート期間

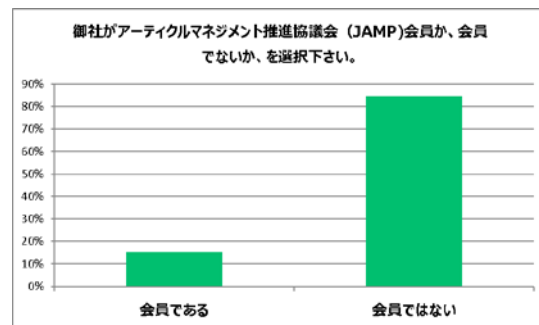
2021年6月16日～25日

## 2. アンケート送付先

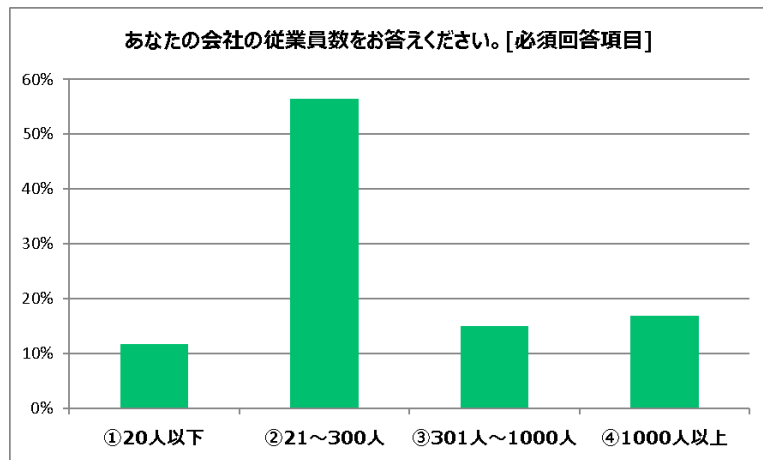
JAMP会員、委員、  
chemSHERPAダウンロードユーザー（直近1年間）  
約5万名

## 3. 有効回答数

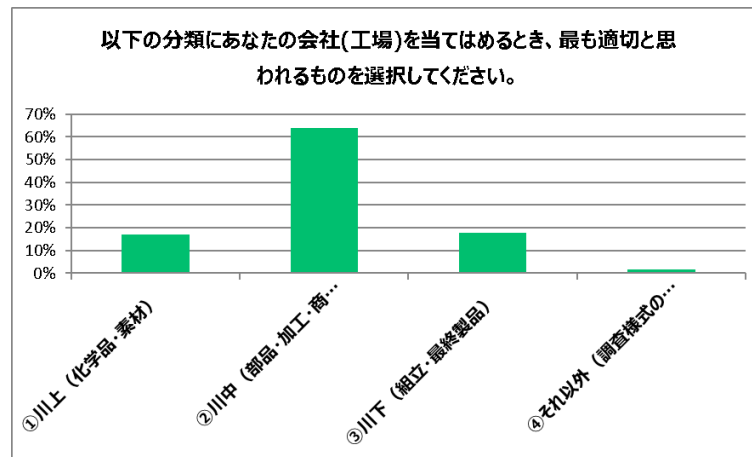
3,645件 うち、設問への回答  
川上・川中 3,062名 川中・川下 2,972名



**JAMP会員は15%程度**



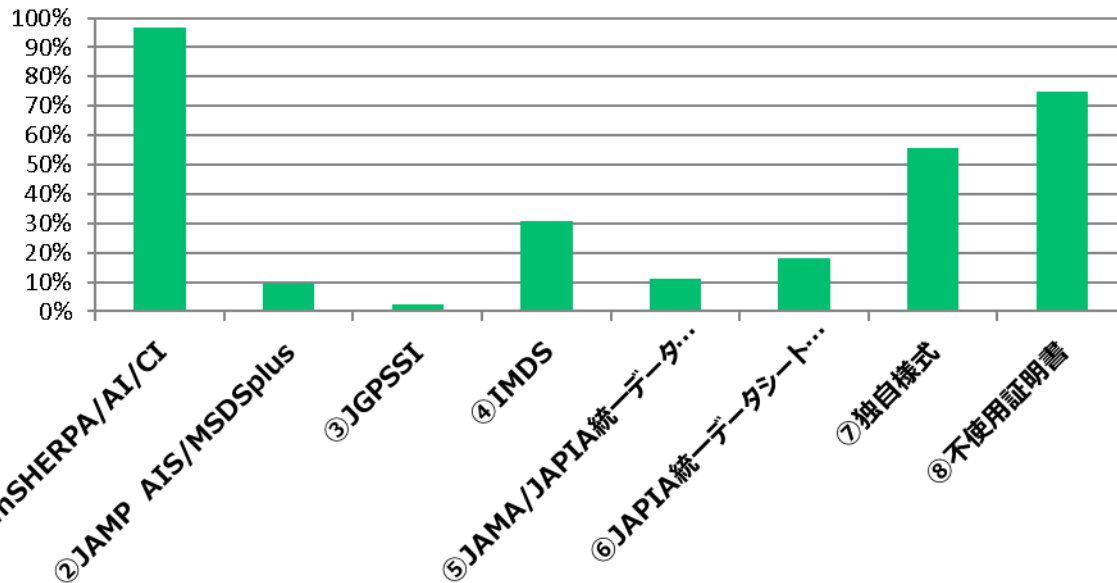
**300人以下の企業が7割を占める**



**川中企業が6割を占める**

# 川上・川中企業が依頼されている様式（現状）

川上・川中企業にお伺いします。現在、顧客（川下企業）から依頼されている様式は、どれですか？（複数選択可）



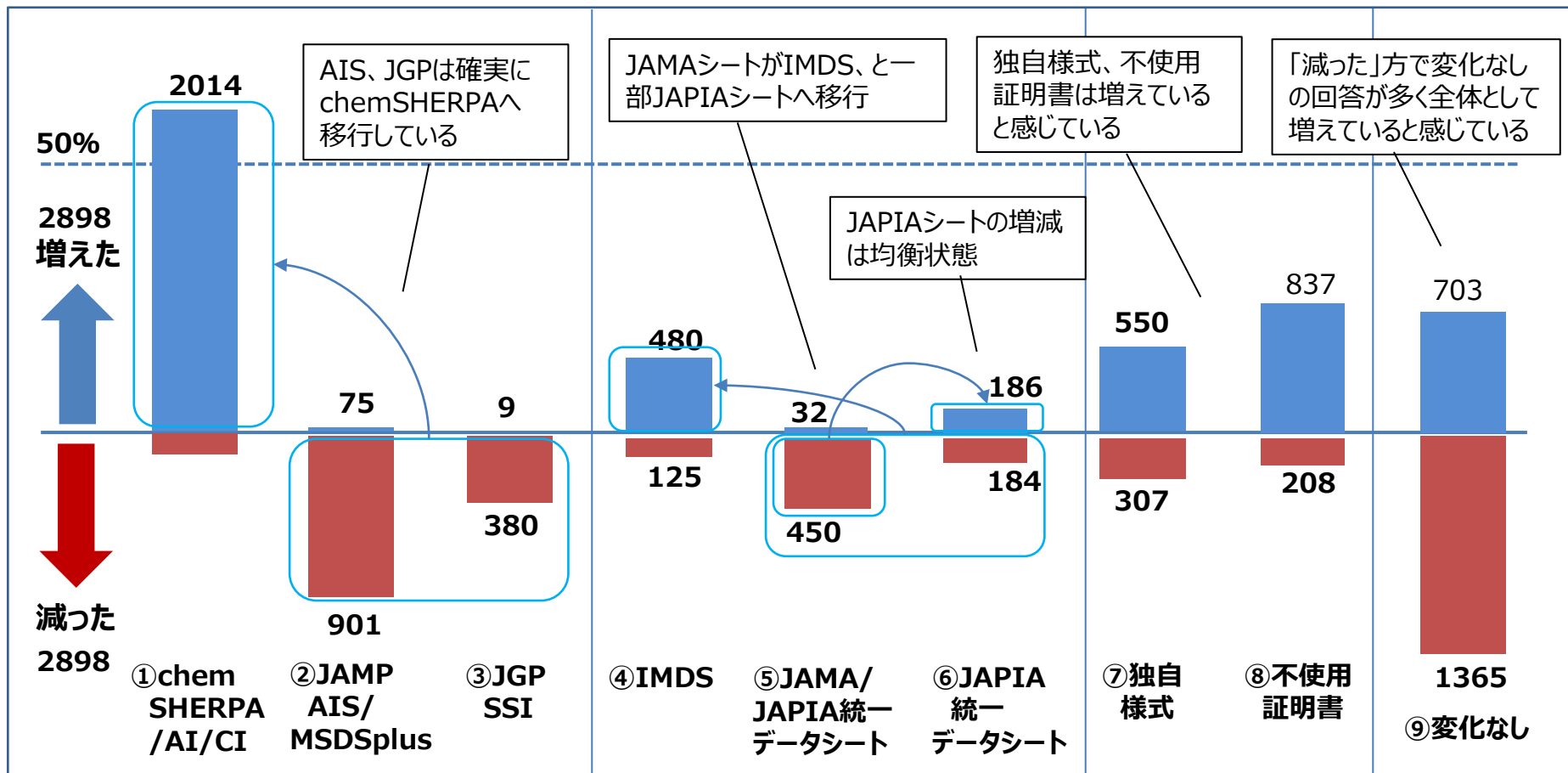
Answer Choices	Responses	
① chemSHERPA/AI/CI	96.90%	2967
② JAMP AIS/MSDSplus	9.31%	285
③ JGPSSI	2.35%	72
④ IMDS	30.76%	942
⑤ JAMA/JAPIA統一データシート	10.97%	336
⑥ JAPIA統一データシート (2020年10月~)	18.09%	554
⑦ 独自様式	55.52%	1700
⑧ 不使用証明書	74.95%	2295
	Answered	3062
	Skipped	583

① chemSHERPAユーザの1/3はIMDSにも対応している

② JAPIAシートもIMDSの2/3程度の利用がある

③ chemSHERPAの50~80%の割合で独自様式と不使用証明書が存在している

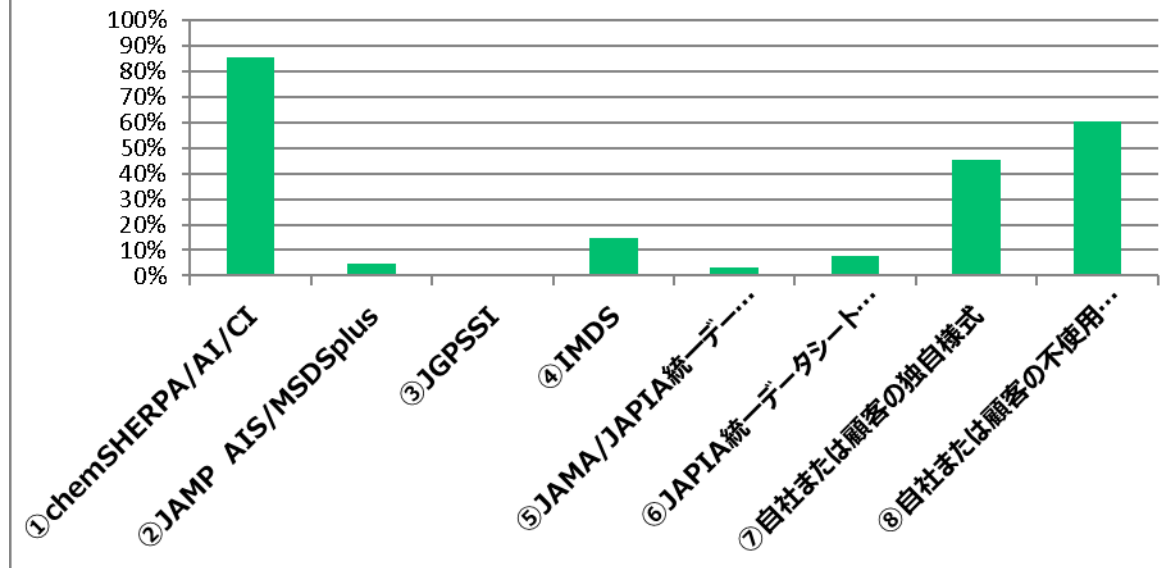
# 川上・川中企業が依頼されている様式の変化 (1年前に比べて増えたか、減ったか)



- ① IMDSは確実に増加しているが、JAPIAシートが減っているとは言い切れない (今後の定点観測で判断)
- ② 独自様式、不使用方法は増加傾向にある (特に不使用方法)

# 川中・川下企業が依頼している様式（現状）

川中・川下企業にお伺います。現在、取引先へ依頼している様式は、  
どれですか？（複数選択可）



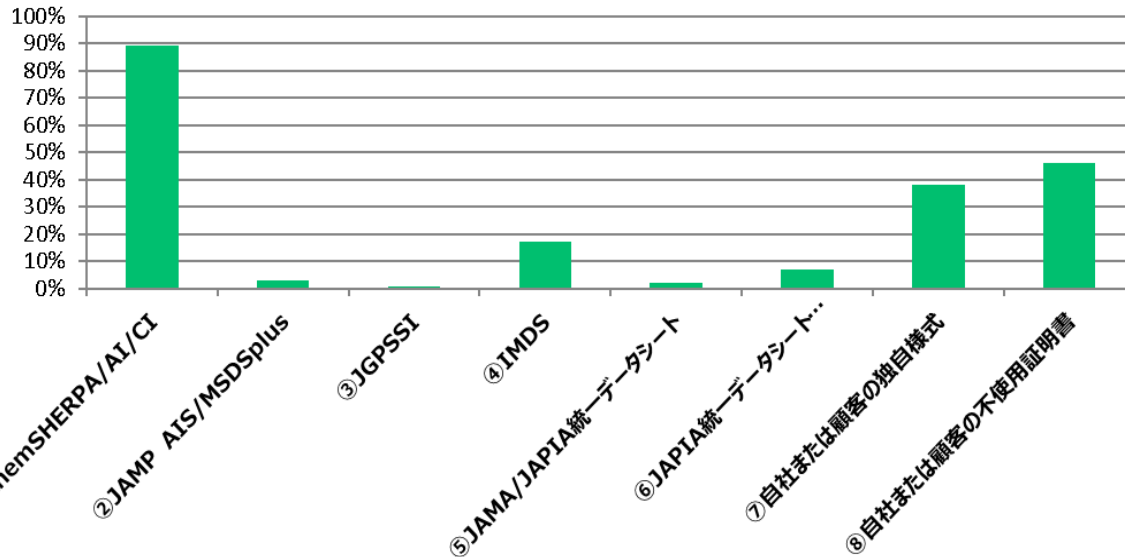
Answer Choices	Responses	
① chemSHERPA/AI/CI	85.73%	2548
② JAMP AIS/MSDSplus	4.95%	147
③ JGPSSI	0.74%	22
④ IMDS	15.01%	446
⑤ JAMA/JAPIA統一データシート	3.13%	93
⑥ JAPIA統一データシート (2020年1)	7.50%	223
⑦ 自社または顧客の独自様式	45.39%	1349
⑧ 自社または顧客の不利用証明書	60.46%	1797
	<b>Answered</b>	<b>2972</b>
	<b>Skipped</b>	<b>673</b>

① IMDSは川下が加わることで15%程度に割合が減る

② chemSHERPAの利用率が、依頼される様式に対し  
依頼する様式が、96.9→85.7%に減っている  
この部分が独自様式や不利用証明書での調査になって  
いると推定される

# 川中・川下企業が将来活用する様式 (自動車互換となった場合)

川中・川下企業にお伺いします。将来chemSHERPAが国際標準の自動車互換様式に対応した場合、取引先へ依頼する様式はどれですか？（複数選択可）



Answer Choices	Responses	
① chemSHERPA/AI/CI	89.25%	2541
② JAMP AIS/MSDSplus	3.09%	88
③ JGPSSI	0.67%	19
④ IMDS	17.28%	492
⑤ JAMA/JAPIA統一データシート	2.04%	58
⑥ JAPIA統一データシート (2020年1月)	6.95%	198
⑦ 自社または顧客の独自様式	38.08%	1084
⑧ 自社または顧客の不使用証明書	45.87%	1306
	<b>Answered</b>	<b>2847</b>
	<b>Skipped</b>	<b>798</b>

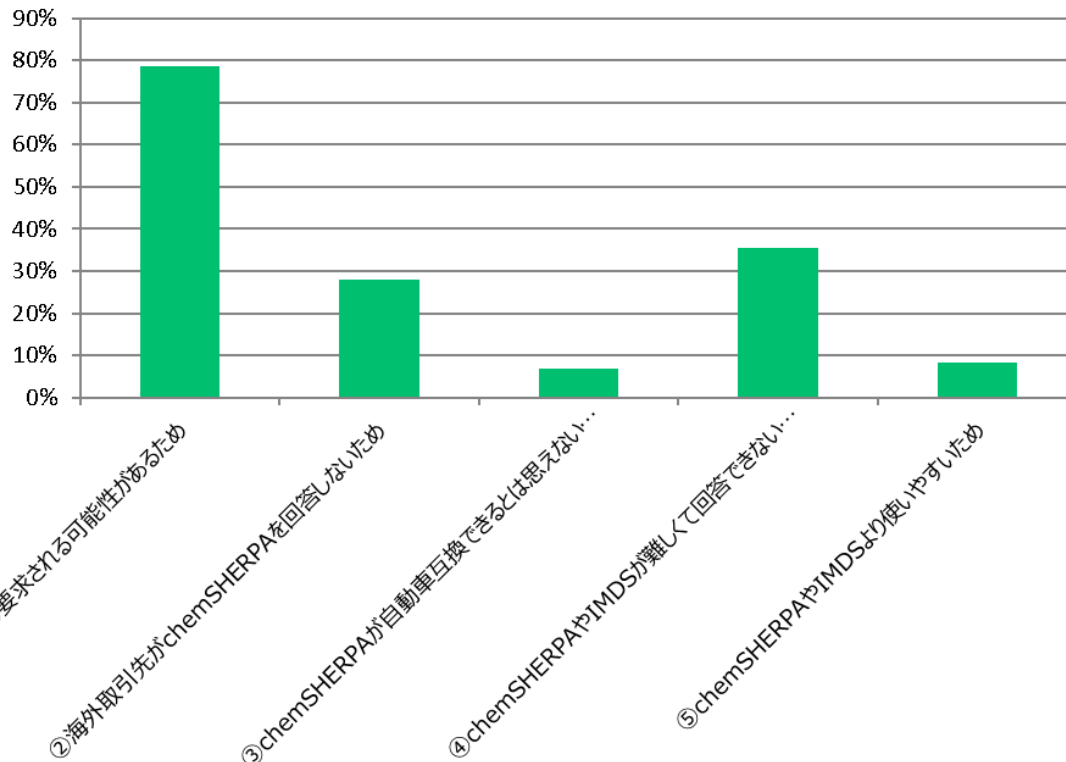
## ① 自動車互換に対応したら

chemSHERPA + 4%、IMDS + 2%  
 独自様式 △ 7%  
 不使用証明書 △ 15%

の効果があるとの回答

# 川中・川下企業 chemSHERPA/IMDS以外が残る理由 (自動車互換となった場合)

上記でchemSHERPA、IMDS以外の様式が残ると回答された方 (①④  
以外にチェックされた方)、その理由をお教えてください。(複数選択可)



川中企業の割合が多く、  
①顧客からの要求が残る  
②取引先にとって難しい  
③chemSHERPA海外取引先が  
対応してくれない  
の順に理由をあげている

自由記述欄には、上記の補足説明がある一方で、

- ・chemSHERPAの規制物質収載  
タイミングが遅く、不使用証明書で  
の調査が発生している (31件)

という理由が比較的多く寄せられている  
(ご参考に添付します)

## Answer Choices

## Responses

①顧客から要求される可能性があるため	78.65%	1297
②海外取引先がchemSHERPAを回答しないため	28.08%	463
③chemSHERPAが自動車互換できると思えないため	6.79%	112
④chemSHERPAやIMDSが難しく回答できない取引先がいるため	35.42%	584
⑤chemSHERPAやIMDSより使いやすいため	8.31%	137
その他 (上記以外の理由、または、補足説明があればお願いします)		468
	<b>Answered</b>	<b>1649</b>
	<b>Skipped</b>	<b>1996</b>



#### 1. 著作権

・本資料の著作権は、発行者であるア－ティクルマネジメント推進協議会(JAMP)に帰属し、本書の無断での複製、転載などは著作権法上の例外を除き、禁じられています。本書に記載されている文章、図表などを複製、転載などされる場合は、事前に発行者の許諾を得てください。

#### 2. 責任の制限

・本資料は、記載された情報の利用にあたっては各自の判断に基づき行うものとし、作成者・著作者はそれによって生じた一切の損害については責任を負いかねます。